

(4) 小・中学校など学校間の連携 家庭・地域との連携

<各学校の取組の特徴>

- 児童会、生徒会が連携し、小・中学校合同の取組を企画・運営するようにしています。
- お便り等の発行を通じて、家庭との連携を図っています。
- 家庭・地域との連携を深めるため、リモート配信をしています。



(4) 小・中学校など学校間の連携、家庭・地域との連携		
ページ	学校名	取組の名前
1	中茶安別小中学校	児童生徒会主催 昼休みの全校運動
	別保小学校	食育推進プラン
2	鳥取西中学校	鳥取西中学校生徒及びうるおい学習推進委員 パークゴルフ大会
	遠矢中学校	遠中ソーラン リモート配信
3	厚岸中学校	歩き登校日



「児童生徒会主催 昼休みの全校運動」

校長名：大 崎 治 樹 児童生徒数：26名（男子15名 女子11名）



【これまでの課題】

- ・小中が連携した取組の不足

【実施した取組】

- ・児童生徒会が主体となって企画した、小中合同の「全校運動」を月1回、昼休みに実施しました。
- ・全校児童生徒と一緒に運動しました。

【見られた成果】

- ・児童生徒会が中心となり、小中が連携した取組を主体的に企画・運営することで、運動に親しむ習慣づくりを行うことができました。

【取組のポイント】

- ・児童生徒に主体性をもたせ、全員が楽しめる運動を自分たちで考えることを大切にしました。

「食育推進プラン」

校長名：藤 森 美由紀 児童数：203名（男子97名 女子106名）



【これまでの課題】

- ・正しい食習慣の確立
- ・食に関する指導の充実

【実施した取組】

- ・食育推進プランを設定し、以下の取組を行いました。
 - ①月ごとに食育目標を設定したり、家庭向け食育通信を作成したりしました。
 - ②給食の際に食育クイズを実施しました。
 - ③食育に関わる掲示物を作成しました。

【見られた成果】

- ・給食の残食が減り、食に興味をもつ児童が増えました。
- ・食育通信や食育クイズを楽しみにする保護者が増え、家庭での正しい食習慣の確立につながりました。

【取組のポイント】

- ・児童の興味・関心を高めることができるよう、栄養教諭や養護教諭と学級担任が連携しながら実施しました。
- ・家庭と連携が図られるよう、児童の実態から月ごとの食育目標を設定しました。

「鳥取西中学校生徒及びうるおい学習推進委員 パークゴルフ大会」

校長名：小 玉 功 生徒数：543名（男子295名 女子248名）



【これまでの課題】

- ・ 体育授業以外での運動量
- ・ 地域の行事に参加する生徒の割合

【実施した取組】

- ・ 学校、保護者、地域が連携・協力し、パークゴルフ大会を企画しました。

【見られた成果】

- ・ 生徒から「屋外で運動を楽しむことができた」「普段、あまり話す機会のない方々と話すよい機会となったのでまた参加したい」等の声が聞かれました。

【取組のポイント】

- ・ 本校と地域等との交流の一層の促進を図る生徒会交流委員会が参加者を募り実施しました。

「遠中ソーラン リモート配信」

校長名：伊 澤 一 郎 生徒数：90名（男子48名 女子42名）



【これまでの課題】

- ・ 体育祭の実施内容や取組方法

【実施した取組】

- ・ 実施内容を学年ごとに工夫しました。
- ・ リモート配信を取り入れました。
- ・ 生徒主体の活動を遠中祭のプログラムに取り入れました。

【見られた成果】

- ・ リモート配信をしたことにより、地域に広く取組を公開できました。

【取組のポイント】

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策と、保護者・地域への公開を両立するため、ホームページを活用し、リモート配信を行いました。

「歩き登校日」

校長名：西 澤 和 訓 生徒数：74名（男子35名 女子39名）



【これまでの課題】

- ・体力の低下
- ・車による登校の割合

【実施した取組】

- ・月に2回、徒歩で登校する日を設定しました。

【見られた成果】

- ・歩き登校日に関わらず徒歩通学をする生徒や昼休みに体を動かす生徒の割合が増えました。

【取組のポイント】

- ・全家庭へ取組の目的を周知しました。